



2019年8月8日

各 位

会 社 名 豊商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 安成 政文
 (コード番号：8747、JASDAQ)
 問合せ先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
 (TEL.03 - 3667 - 5211)

2020年3月期第1四半期累計期間の連結業績見通しに関するお知らせ

2020年3月期第1四半期累計期間(2019年4月1日~2019年6月30日)の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第1四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第1四半期連結累計期間速報値 (2020年3月期第1四半期累計期間) (A)	1,608	259	273	141
前年同期実績 (2019年3月期第1四半期累計期間) (B)	1,591	226	228	160
増減額 (A - B)	16	33	44	19
増減率 (%)	1.1	14.7	19.6	11.9
(参考) 2019年3月期実績	5,911	750	766	578

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

2020年3月期第1四半期累計期間の我が国経済は、中国を中心にアジア向けの輸出が減少し生産活動の停滞が懸念される中で、日本銀行による金融緩和政策の継続を背景に国内需要において設備投資の増加傾向が続いているほか、個人消費も所得環境の改善を背景に緩やかに増加するなど底堅さを見せております。先行きの経済は、外需に不透明感が残るものの内需の拡大に支えられ緩やかな回復軌道に復帰する見通しであります。

また、世界経済は、米国では良好な所得環境を背景に個人消費が堅調に推移する一方で通商政策の不透明感により輸出の伸びは緩やかになっております。中国では米国による制裁関税引き上げによる外需の低迷が続いているほか、内需の回復にも遅れがみられ失速しつつあります。米国においては個人消費を中心に引き続き堅調に推移することが予想され、中国においては政府の内需刺激策により緩やかに回復軌道に復帰し、全体として緩やかに持ち直す見込みであります。米国による中国への制裁関税の拡大や自動車への追加関税の賦課に踏み切った場合、大きく下振れするリスクも含んでおります。

このような環境のもとで、商品先物取引の総売買高 453 千枚(前年同期比 16.0%減)及び金融商品取引の総売買高 262 千枚(前年同期比 27.3%減)となり、受取手数料 1,347 百万円(前年同期比 8.7%減)、売買損益 259 百万円の利益(前年同期比 127.4%増)となりました。以上の結果、営業収益 1,608 百万円(前年同期比 1.1%増)、経常利益 273 百万円(前年同期比 19.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 141 百万円(前年同期比 11.9%減)を計上する見込みであります。

以上